

栄養・生化学特論演習 (2単位)

担当者氏名 山本 祐司・小林 謙一

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

栄養・生化学特論演習では食品の栄養成分から生体にとって有用な機能成分を抽出し、生命活動や体の恒常性維持にどのように働きかけているかについて理解出来る事を学習目標とする。これらを研究対象とし、動物実験系、培養細胞実験系の解析手法を中心に、修得する。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	機能成分の解析	分析機器を用いた解析方法について (HPLC)	代謝や遺伝子発現、タンパク質の機能発現について最新の解析手法やデータについて日常的に論文を読み授業に望む
2	機能成分の解析	分析機器を用いた解析方法について (タンパク質他)	
3	生体成分の解析	遺伝子のクローニングについて	
4	生体成分の解析	遺伝子発現量の解析について	
5	生体成分の解析	タンパク質の発現量の解析について	
6	生体成分の解析	酵素活性の解析について	
7	動物実験解析	動物実験の試料作成について	
8	動物実験解析	動物実験の解剖手法について	
10	動物実験解析	解析サンプルの調整手法について	
11	細胞培養実験解析	培養細胞を用いた解析手法について	
12	細胞培養実験解析	阻害剤を用いた培養細胞実験系について	
13	細胞培養実験解析	遺伝子発現解析の手法について	
14	実験データ解析	実験データ解析手法について	
15	プレゼン手法	プレゼンテーション法について	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

教員から渡された論文など

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

デブリン生化学 丸善出版

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

課題研究の成果とプレゼンテーションの総合評価

◆オフィスアワー

事前に教員と調整の上打ち合わせる事

◆その他受講上の注意事項